

## 7 国際交流

### 進捗状況報告

| ○基礎的な状況を継続的に観測する指標  |                         |                  |    | 公開/非公開 | 全学的な視点 | 個別的な視点 | 単位 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 備考 |                  |
|---|-------------------------|------------------|----|--------|--------|--------|----|------|------|------|------|------|----|------------------|
| 指標1   | 国際交流協定締結機関数             |                  |    | 公開     | ○      | 機関     |    |      |      |      |      |      |    |                  |
| 指標2   | 国際交流協定締結国数              |                  |    | 公開     | ○      | 国      |    |      |      |      |      |      |    |                  |
| 指標3   | 海外からの学生の受け入れ            | 国 数              |    | 公開     | ○      | 国      |    |      |      |      |      |      |    |                  |
|   |                         | 外国人留学生           | 正規 | 公開     | ○      | ○      | 人  | 13   | 17   | 16   | 16   |      |    |                  |
|   |                         |                  | 交換 | 公開     | ○      | ○      | 人  | 2    | 2    | 9    | 2    |      |    |                  |
|   |                         | 外国人留学生<br>在籍学生比率 | 正規 | 公開     | ○      | ○      | %  | 0.4  | 0.6  | 0.6  | 0.6  |      |    | 外国人留学生÷在籍学生数     |
|   |                         |                  | 交換 | 公開     | ○      | ○      | %  | 0.1  | 0.1  | 0.3  | 0.1  |      |    |                  |
| その他<br>(セミナー等による受け入れ)   |                         | 公開               | ○  |        | 人      |        |    |      |      |      |      |      |    |                  |
| 指標4   | 海外への学生の派遣               | 国 数              |    | 公開     | ○      | 国      |    |      |      |      |      |      |    |                  |
|   |                         | 人 数              | 長期 | 公開     | ○      | ○      | 人  | 6    | 16   | 7    | 15   |      |    |                  |
|   |                         |                  | 短期 | 公開     | ○      | ○      | 人  | 34   | 23   | 34   | 42   |      |    |                  |
|   |                         | 在籍学生比率           | 長期 | 公開     | ○      | ○      | %  | 0.2  | 0.6  | 0.2  | 0.5  |      |    | 海外へ派遣した学生数÷在籍学生数 |
|   |                         |                  | 短期 | 公開     | ○      | ○      | %  | 1.1  | 0.8  | 1.2  | 1.5  |      |    |                  |
| 指標5   | 人的国際学術研究交流<br>(受け入れ教員数) | 長期               | 公開 | ○      | ○      | 人      | 1  | 1    | 0    | 1    |      |      |    |                  |
|   |                         | 短期               | 公開 | ○      | ○      | 人      | 2  | 2    | 3    | 0    |      |      |    |                  |
| 指標6   | 人的国際学術研究交流<br>(派遣教員数)   | 長期               | 公開 | ○      | ○      | 人      | 0  | 2    | 2    | 0    |      |      |    |                  |
|   |                         | 短期               | 公開 | ○      | ○      | 人      | 27 | 31   | 24   | 26   |      |      |    |                  |
| ○施策の目標の達成度を測る指標   |                         |                  |    | 公開/非公開 | 全学的な視点 | 個別的な視点 | 単位 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 備考 |                  |
| 指標7   | 国連ボランティア(UNV)の参加者数      |                  |    | 公開     | ○      | 人      |    |      |      |      |      |      |    |                  |
| <small>注) 全学的な視点、個別的な視点について<br/>           全学的な視点とは国際教育協力センターの進捗状況報告シートに表示される項目<br/>           個別的な視点とは各学部の進捗状況報告シートに表示される項目<br/>           注) 正規、交換について<br/>           正規とは学位取得目的、交換は正規以外とする。<br/>           注) 長期、短期について<br/>           指標4: 1学期以上を「長期」とし、1学期未満を「短期」とする。<br/>           指標5・6: 1年間以上を「長期」とし、1年間未満を「短期」とする。<br/>           注) 指標4は学部、研究科を合わせた数とする。</small> |                         |                  |    |        |        |        |    |      |      |      |      |      |    |                  |
| 海外協定校との間では交換留学制度を利用しており、異文化相互理解に一定の役割を果たしていると思われる。教員の国際交流に関しては、毎年多様な地域から客員研究員として、または短期の研究を目的として、一定の人数が法学部を訪れており、また法学部からも毎年、半年を超える長期留学者として2、3名が各国に派遣され、また短期の派遣教員として、毎年数名が海外の機関に出向いている。   |                         |                  |    |        |        |        |    |      |      |      |      |      |    |                  |

### 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

アジア地域への貢献に寄与できるよう、学生交流を量的・質的に拡大するための検討を引き続き行いたい。

### 学内第三者評価

交換学生および外国人留学生の受け入れは毎年一定数が確保されている。学部の性格上、人数の増加を図るのは難しい面があるが、政治学科においてはその国際性を生かして増加の工夫が求められる。また、日本人学生についても、交換学生制度や英語中期留学制度の活用者は、年度によって上下はあるが、増加傾向が見られる。外国人学生および日本人学生、ともに、国際交流について、その成果が認められるが、「アジア地域への貢献」を重点目標と掲げていることでもあり、今後一層の量的・質的な拡充が望まれる。教員に関しては、客員教員の受け入れは毎年数名であるが、教員の海外派遣は、海外出張を含めると一定数を確保している。2003年度の目標設定にあるように、外国人教員受け入れおよび本学教員派遣のさらなる推進に努めることが期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
 留学生数および短期を除く学生派遣数はともに低調である。  
 教員の受け入れもほとんどなくなってきている。  
 学部レベルの検討委員会が設置されてもいいのではないかと。キャンパスの国際化は学生にいい刺激となるし、関学のブランド力向上にもつながることが期待できるため。